



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社ピクセラ 上場取引所 東  
 コード番号 6731 URL http://www.pixela.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤岡 浩  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)池本 敬太 (TEL)06(6633)3500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,225	△19.6	△457	—	△502	—	△549	—
25年9月期第3四半期	2,768	△42.8	△381	—	△449	—	△440	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △542百万円( —%) 25年9月期第3四半期 △433百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△43.29	—
25年9月期第3四半期	△40.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,527	△165	△10.8
25年9月期	1,455	25	1.5

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 △165百万円 25年9月期 21百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0 00	—	0 00	0 00
26年9月期	—	0 00	—		
26年9月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,673	△1.2	△242	—	△300	—	△347	—	△27 43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	13,734,100株	25年9月期	11,103,800株
26年9月期3Q	118,712株	25年9月期	118,712株
26年9月期3Q	12,682,144株	25年9月期3Q	10,915,388株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューの手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は22億25百万円（前年同期比19.6%減）、営業損失4億57百万円（前年同期は営業損失3億81百万円）、経常損失5億2百万円（前年同期は経常損失4億49百万円）、四半期純損失5億49百万円（前年同期は四半期純損失4億40百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は以下のとおりであります。

#### 〔ホームAV事業〕

スマートフォンやタブレットでテレビが視聴できるモバイル向けフルセグチューナーは、サッカー・W杯に合わせて販売強化を行い出荷台数を伸ばしました。また、ワイヤレステレビチューナーは外出先からのリモート視聴機能を追加し、主に回線事業者向けに堅調に推移しました。

一方、ケーブルテレビ局向けの端末は、サービスの追加や仕様の変更に対応するため一時的に出荷を停止しており、販売台数が計画を大きく下回りました。また、スマートフォン向けのフルセグ放送視聴アプリケーションは、アンドロイド・スマートフォンの販売台数が伸び悩み、ロイヤルティ収入は前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は11億20百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億19百万円（前年同期はセグメント損失2億73百万円）となりました。

#### 〔パソコン関連事業〕

パソコン向けテレビキャプチャー及び付随するテレビ視聴ソフトウェアのOEM販売は、XPパソコンからの買換えが一巡し、消費増税前の駆け込み需要の反動もあったことからテレビ付きパソコンの販売が減少し、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は5億51百万円（前年同期比49.4%減）、セグメント損失（営業損失）は1億96百万円（前年同期はセグメント利益1億90百万円）となりました。

#### 〔AVソフトウェア事業〕

ビデオカメラ向けの画像編集アプリケーションは、スマートフォンやタブレットへの対応に向けた開発案件があったものの、スマートフォンの高性能化によるビデオカメラの市場浸食が続き減収減益となりました。

この結果、売上高は1億33百万円（前年同期比48%減）、セグメント利益（営業利益）は69百万円（前年同期比48%減）となりました。

#### 〔その他〕

光触媒塗料関連では、塗装工事の施工案件が引き続き伸長し、売上高は4億19百万円（前年同期比24.6%増）、セグメント利益（営業利益）は71百万円（前年同期比683.8%増）となりました。

（注）各セグメントのセグメント利益（営業利益）又はセグメント損失（営業損失）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用5億21百万円を配分する前の金額であります。

### （2）財政状態に関する説明

#### （総資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、15億27百万円となりました。これは主に、売上債権が1億50百万円、現金及び預金が40百万円増加し、たな卸資産が68百万円、投資有価証券が17百万円減少したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億72百万円増加し、16億93百万円となりました。これは主に新株予約権付社債が3億99百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億円減少したこと等によるものであります。

#### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億90百万円減少し、1億65百万円の債務超過となりました。これは新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が3億56百万円増加したものの、それを上回る四半期純損失を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、新規事業の早期の収益化に向けた研究開発費が当初計画よりも大幅に増加したこと、また、下期に予定しておりました固定回線事業者や通信キャリア向けの大口案件が、受注の遅れにより第4四半期以降来期に渡って後ずれすることになったことから、売上高、利益ともに前回予想数値を下回る見込みとなり、以下の通り修正しております。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,100	267	233	214	16 42
今回予想 (B)	3,673	△242	△300	△347	△27 43
増減額 (B) - (A)	△427	△509	△533	△574	—
増減率 (%)	△10.4	—	—	—	—

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において2期連続の営業損失を計上し、さらに当第3四半期連結累計期間においても、4億50百万円の営業損失を計上し、また純資産についても1億65百万円の債務超過となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社ではこのような状況を解消するため、①法人向け事業の拡大、②スマートフォン、タブレット市場に向けた製品の投入、③固定費の削減といった施策を中心に取り組み、受注の拡大と収益の回復を図っております。

当第3四半期連結累計期間においては、機能を追加したワイヤレスチューナーが回線事業者向けに順調に伸びたほか、新たに開発したモバイル向けフルセグチューナーがタブレットメーカーに採用されました。一方、ケーブルテレビ局向けのVOD（ビデオ・オン・デマンド）端末は、サービスや仕様の変更に対応するために一時的に出荷を停止したため販売計画に未達となりましたが、引き続き事業者が提供する様々なサービスに対応する製品の開発強化に努めてまいります。また、第4四半期において通信事業者向けの開発案件が予定されており、今後も製品の提案だけでなく、システムやサービスの受注活動にも注力してまいります。

固定費につきましては、人件費を中心に削減に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間における役員報酬及び従業員給与（賞与、法定福利費含む）の削減額は、前年同期比で1億12百万円（削減率は△12.0%）となっております。今後は、販売管理費や製造原価につきましても総額で年間10%削減することを目標に取り組んでまいります。

資金面につきましては、当第3四半期連結累計期間において平成25年7月25日に発行いたしました新株予約権の行使が全て完了し、3億52百万円を調達したほか、平成26年3月25日に発行いたしました転換社債型新株予約権付社債の払込によりさらに3億99百万円を調達し、当面の運転資金を確保しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	278,324	318,806
受取手形及び売掛金	482,802	633,503
商品及び製品	139,551	69,510
仕掛品	36,755	15,332
原材料及び貯蔵品	87,095	110,093
その他	68,789	71,433
貸倒引当金	△237	△3,927
流動資産合計	1,093,080	1,214,751
固定資産		
有形固定資産	140,868	141,216
無形固定資産		
ソフトウェア	14,526	10,437
電話加入権	817	817
その他	—	33
無形固定資産合計	15,343	11,287
投資その他の資産		
投資有価証券	79,044	61,064
営業保証金	18,279	—
保険積立金	3,763	3,816
敷金	80,256	80,256
その他	18,069	20,436
貸倒引当金	△8,100	△8,100
投資その他の資産合計	191,312	157,473
固定資産合計	347,524	309,977
繰延資産		
社債発行費	—	3,178
新株予約権発行費	4,674	—
繰延資産合計	4,674	3,178
資産合計	1,445,280	1,527,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,749	469,550
短期借入金	227,980	224,717
役員からの短期借入金	52,393	125,402
1年内返済予定の長期借入金	127,061	93,506
未払金	72,436	64,668
未払費用	92,288	74,392
未払法人税等	11,785	5,814
未払消費税等	22,840	16,644
その他	11,397	53,007
流動負債合計	1,187,931	1,127,702
固定負債		
長期借入金	188,840	121,787
新株予約権付社債	—	399,999
資産除去債務	30,511	30,567
繰延税金負債	11,914	12,075
長期預り保証金	1,000	1,000
固定負債合計	232,266	565,429
負債合計	1,420,197	1,693,132
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,105,798	1,284,059
資本剰余金	4,507	182,768
利益剰余金	△952,409	△1,501,426
自己株式	△125,038	△125,038
株主資本合計	32,858	△159,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,642	△5,588
その他の包括利益累計額合計	△11,642	△5,588
新株予約権	3,866	0
純資産合計	25,082	△165,224
負債純資産合計	1,445,280	1,527,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,768,960	2,225,148
売上原価	2,175,845	1,804,033
売上総利益	593,115	421,114
販売費及び一般管理費	975,108	879,053
営業損失(△)	△381,992	△457,938
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	76	74
助成金収入	300	—
投資事業組合運用益	633	—
保険金収入	17,069	—
雑収入	550	7,422
営業外収益合計	18,645	7,513
営業外費用		
支払利息	13,871	8,973
支払手数料	12,305	25,132
為替差損	58,797	4,546
投資事業組合運用損	—	6,939
その他	1,306	6,145
営業外費用合計	86,281	51,738
経常損失(△)	△449,629	△502,162
特別利益		
固定資産売却益	20,050	—
特別利益合計	20,050	—
特別損失		
特別退職金	6,043	—
社屋移転関連費用	868	—
固定資産除却損	—	16
業務委託契約解消損	—	41,120
特別損失合計	6,911	41,136
税金等調整前四半期純損失(△)	△436,490	△543,299
法人税、住民税及び事業税	4,640	5,814
法人税等調整額	△277	△84
法人税等合計	4,362	5,729
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△440,853	△549,029
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△440,853	△549,029

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△440,853	△549,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,565	6,054
その他の包括利益合計	7,565	6,054
四半期包括利益	△433,287	△542,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△433,287	△542,975
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権付社債券等に係る新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金が29百万円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が12億84百万円、資本準備金が1億82百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV	パソコン関連	AVソフトウェア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,084,922	1,090,672	256,813	2,432,407	336,552	2,768,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,084,922	1,090,672	256,813	2,432,407	336,552	2,768,960
セグメント利益又は損失 (△)	△273,200	190,645	120,191	37,636	9,158	46,795

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒塗料事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	37,636
「その他」の区分の利益	9,158
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△428,788
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△381,992

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームAV	パソコン関連	AVソフトウェア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,120,523	551,656	133,614	1,805,794	419,353	2,225,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,120,523	551,656	133,614	1,805,794	419,353	2,225,148
セグメント利益又は損失(△)	119,014	△196,578	69,719	△7,845	71,784	63,938

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、光触媒塗料事業等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△7,845
「その他」の区分の利益	71,784
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△521,876
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△457,938

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎研究費等であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。